

製品名: BRMS-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07659**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	28kDa

抗原情報

遺伝子名	BRMS1
別名	BRMS1; Breast cancer metastasis-suppressor 1
遺伝子 ID	25855.0
SwissProt ID	Q9HCU9
免疫原	抗血清はヒト BRMS1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

背景

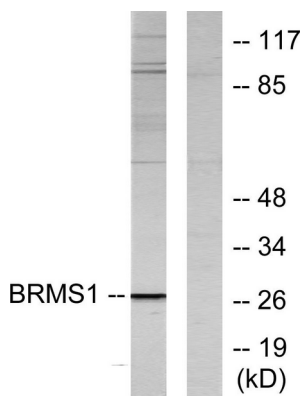
この遺伝子は、ヒト乳がんおよびメラノーマ細胞株の転移能を低下させるが、腫瘍形成能は低下させない。この遺伝子によってコードされるタンパク質は主に核に局在し、ヒストン脱アセチル化酵素複合体 (HDAC) の mSin3a ファミリーの構成要素である。このタ

ンパク質は、2つのコイルドコイルモチーフと複数の不完全なロイシンジッパーモチーフを含む。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2008年7月]、機能：乳がんにおける転移抑制のメディエーターである可能性がある。、類似性：BRMS1ファミリーに属する。、組織特異性：正常産胎盤では早期胎盤よりも発現レベルが高い。正常妊娠および胎状奇胎妊娠では発現レベルが低い。、

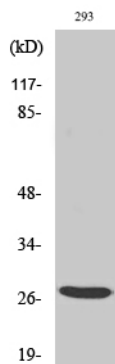
研究分野

-

画像データ



BRMS1抗体を用いた293細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



BRMS-1ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析